



首都圏自然歩道

ガイド番号

5-1

2026年度版

関東ふれあいの道

神奈川県コース

① 三浦・岩礁のみち

② 油壺・入江のみち

③ 荒崎・潮騒のみち

④ 佐島・大楠山のみち



1番コース 江奈湾



神奈川県

① 三浦・岩礁のみち

10.3km 所要3時間

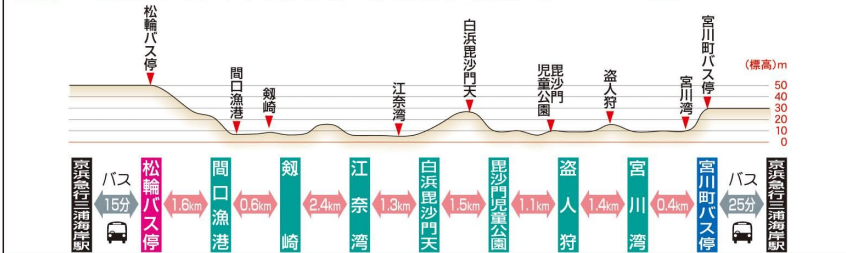
三浦半島の先端部の海岸沿いを歩くコースで、浦賀水道や房総半島を眺め、磯遊びを楽しみながらハイキングができるコースです。

このみちは



神奈川県は三浦半島の先端部の海岸沿いを歩くコースで、浦賀水道や房総半島を眺め、磯遊びを楽しみながらハイキングができるコースです。神奈川県の起点は久里浜のフェリー乗り場ですが、ここから松輪バス停（三浦市南下浦町松輪）までは連絡区間となっています。（バスと鉄道での接続）。1番コースの起点は松輪バス停です。ここから間口漁港までは市道を歩いて1.6kmで、夏はスイカ、冬は大根畑と四季を通じ農作物が目に入ります。間口漁港から湾をまわって海岸を行くと県の景勝50選のひとつ剣崎（つるぎざき）です。断崖の上には、東京湾の玄関口・浦賀水道への航路を照らす剣崎灯台が立っています。さらに岩畳を進むと江奈湾です。これより県道を歩いて、左に干潟を見ながら坂を上ると三浦七福神のひとつ白浜毘沙門天入口です。畑の中を進み、坂を下ると白浜毘沙門天です。ふたたび海岸に出て、磯づたいに歩くと右に毘沙門天洞窟があります。毘沙門湾の中ほどに児童公園があり、湾を目の前にして休憩するには良いところです。湾をあとに、磯でして干置敷を過ぎると盗人狩に着きます。岩畳をさらに進み、左に観音山を見ながら右に曲がって行くと宮川湾です。約300mの坂を登ると終点の宮川町バス停です。なお、このコースは岩や岩礁帯を歩くため落石や足元に十分注意しましょう。高波時や満潮時には、歩けないところもありますので無理はしないでください。

起点⇒三浦市南下浦町松輪：松輪バス停（京浜急行三浦海岸駅から剣崎行または剣崎経由三崎東岡行バス15分）
終点⇒三浦市宮川町：宮川町バス停（京浜急行三浦海岸駅へバス25分）



現地の間合せ先

三浦市観光商工課 ☎046-882-1111 (一社)三浦市観光協会 ☎046-888-0588
京急バス三崎営業所 ☎046-882-6020

② 油壺・入江のみち

3.4km 所要1時間

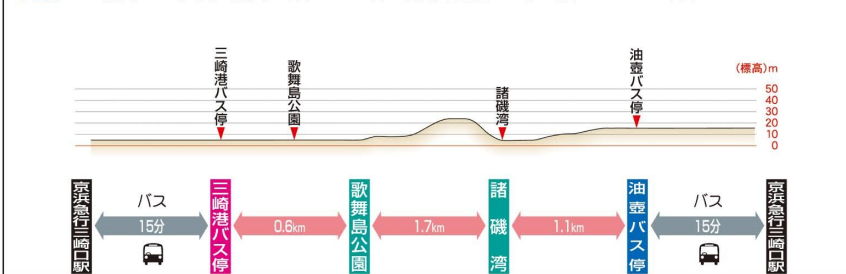
三崎漁港から油壺まで、入江と丘陵地帯を見ながら一般道路を歩くコースです。距離も短く、平坦でやさしいコースですが車に気をつけてください。

このみちは



三崎港バス停をあとに、全国から漁船が集まる三崎漁港を目の前にして、マグロの水揚げなど魚市場の横を進むと歌舞島公園です。源頼朝が白拍子らと舞や歌の宴を開いたことから名前がつけられたといわれます。近くに三浦七福神のひとつ、桃林布袋尊が祭つてある見桃寺があります。道を北上し、左に県指定の天然記念物で、堆積したときの波の跡が地層に記録されたものといわれている二町谷の漣痕（れんこん）を見ることができます。さらに北へ、海外（かいと）の町を通り、そのまま進むと、左にヨットの係留されている諸磯湾が目に入ります。何百本というマストが、水面に影を落として揺らいている景色はすばらしいものです。これより200m進むと、豪華なクルーザーなどに目を見張り、静かな入江の油壺湾入口に着きます。坂を登って県道216号を左に曲がると終点の油壺バス停です。

起点⇒三浦市三崎：三崎港バス停（京浜急行三崎口駅から三崎港行、城ヶ島行、通り矢行バス15分）
終点⇒三浦市三崎町小網代：油壺バス停（京浜急行三崎口駅へバス15分）



現地の間合せ先

三浦市観光商工課 ☎046-882-1111 (一社)三浦市観光協会 ☎046-888-0588
京急バス三崎営業所 ☎046-882-6020

※所要時間はあくまで目安です。また休憩時間を含みません。山岳地域や長距離走行になると、さらに時間がかかる場合もあります。個人差もありますので、体調、天候を考えながら余裕をもって計画を立てましょう。

③ 荒崎・潮騒のみち

7.7km(8.7km) 所要2時間30分

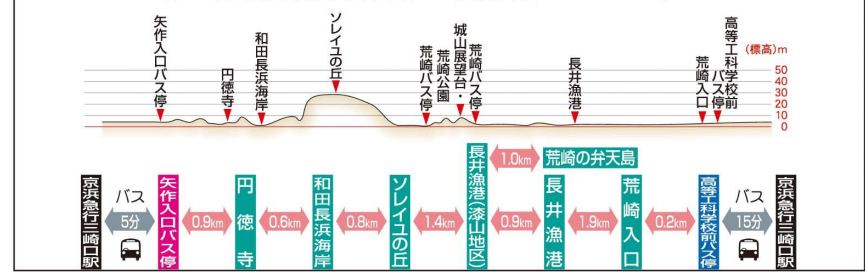
和田長浜の砂浜と荒崎の岩礁に砕ける白波が対照的な、相模湾の海岸をたどるコースです。荒崎からは相模湾の向こうに箱根や富士山が望めます。

このみちは



国道134号矢作入口バス停から三崎口駅方向にすぐの信号を西に向かって集落内を歩きます。700m先を右に曲がり、円徳寺を過ぎると海岸に出ます。潮風を受けながら砂浜を歩いていくと、夏は海水浴客でいっぱいになる和田長浜海岸です。砂浜を15分ぐらい踏みしめて歩くとも嵐崎に至る手前にソレイユの丘へと続く階段があります。この散策路は夜間は閉鎖されるため、通行の際は注意してください。ソレイユの丘を抜けると、車道に出ます。車道を左折し、600mほど進むとT字路につきあたります。ここから撮影ポイントの荒崎の弁天島までは往復することになります。右に相模湾を見ながら、450mほど進むと荒崎バス停です。ここから三崎口駅行のバスが出ています。そのまま車道に沿って歩くと荒崎公園に入り、潮風の丘入口・十字字洞に着きます。南に進み、海岸に出ると荒崎の弁天島が見えてきます。来た道を戻り、漁港や群青の海・白い波頭などを見ながら長井漁港を過ぎて長井郵便局の先の信号のある交差点を右に曲がると、あとは国道134号まで一本道です。国道から横須賀方面に少し進むと終点の高等工科学学校前バス停です。

起点⇒三浦市初声町和田：矢作(やはぎ)入口バス停（京浜急行三崎口駅から横須賀駅、横須賀市民病院行、荒崎行バス5分）
終点⇒横須賀市長井一丁目：高等工科学学校前バス停（京浜急行三崎口駅へバス15分、京浜急行横須賀中央駅・JR横須賀駅へもバスあり）



現地の間合せ先

三浦市観光商工課 ☎046-882-1111 京急バス三崎営業所 ☎046-882-6020
横須賀市観光課 ☎046-822-8294

※荒崎の弁天島までは往復区間(片道1.0km)を含むため、実際に歩く距離は8.7km(所要時間2時間30分)です。

④ 佐島・大楠山のみち

10.7km 所要3時間30分

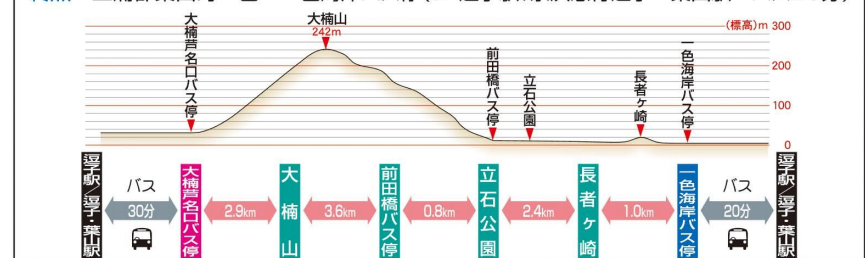
三浦半島最高峰の大楠山は登り約1時間、標高242m。比較的容易に登れるコースですが、最後の階段はちょっと頑張り、下りたあとはひたすら国道の歩道を歩く平坦コースです。

このみちは



国道134号大楠声名口バス停から700mほどのところにある芦名堰を過ぎたあたりから山道に入ります。木立の中をバードウォッチングしながら、さらに約2.3km進むと山頂登り口で、そこから山頂までは階段で100mほどです。大楠山は三浦半島の最高峰で、山頂から富士山や東京湾を望むことができます。撮影ポイントであるかながわ景勝50選の碑も山頂にあります。もと来た階段を下り、山頂登り口の分岐を西の前田橋方面に進むと国土交通省レダ雨量観測所があります。山桜や雑木林の木立の中、森林浴を楽しみながらおよそ2.3km下った先の尾片瀬橋で前田川を渡り、左折します。ここから車道を歩いてしばらくすると右に正行院があり、お国橋を過ぎると国道134号に出ます。目の前の前田橋バス停を右手に、これより葉山御用邸までひたすら国道沿いの歩道を歩くこととなりますが、左に相模湾を望みながら立石公園・久留和海岸・長者ヶ崎・県立葉山公園等があり、立ち寄って休憩するのに景色の良いところです。御用邸を過ぎると終点の一色海岸バス停です。バス停横には葉山おさい公園・葉山おさい博物館があります。

起点⇒横須賀市芦名二丁目：大楠声名口バス停（JR逗子駅、京浜急行逗子・葉山駅から大楠声名口行、市民病院行、長井行、佐島マリーナ行バス30分）
終点⇒三浦市葉山町一色：一色海岸バス停（JR逗子駅、京浜急行逗子・葉山駅へバス20分）



現地の間合せ先

横須賀市観光課 ☎046-822-8294 京急バス逗子営業所 ☎046-873-5511
葉山町産業振興課 ☎046-876-1111

関東ふれあいの道

凡例	
	関東ふれあいの道
	起点 - 終点
	里程標
	案内板
	公衆便所
	バス停
	休憩所
	撮影ポイント
	国道・国道番号
	高速・有料道路
	その他のコース



各コースとも、要所に指導標識(写真参照)が設置されています。また工事等で迂回措置がとられる場合もあります。実際の案内標識にしたがって歩いてください。



神奈川県のコースマップは、50,000分の1の地形図をもとに制作しております。コース上の要所には指導標識を設置しておりますが、特に市街地において適地に設置できなかった場合もあります。実際にコースを歩かれる場合には、市販の道路地図や山岳地図等を併用しながら、指導標識を探すことも楽しみに加えて、歩くようになさってください。



久里浜港フェリーターミナルから京急久里浜駅まで京急バス約10分

危 海岸沿いは落石に十分注意してください。

危 海岸沿いは落石に十分注意してください。

お問い合わせ先
 神奈川県環境農政局自然環境保全課
 ☎ 045-210-1111
 神奈川県自然環境保全センター
 自然保護公園部自然公園課
 ☎ 046-248-2546

1 : 50,000
 500 0 500 1000 1500 2000m
 出典：国土地理院発行 5万分1地形図を加工して作成。